

プラチナ展望

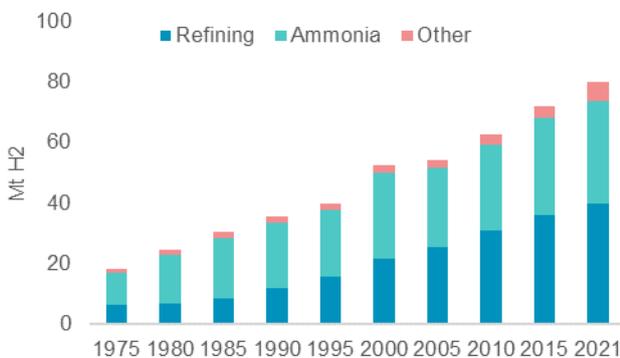
既存のグレー水素市場規模、グリーン水素の新規プロジェクトのリスク軽減、市場の成長と関連プラチナ需要支える

グリーン水素の生産規模は2年毎に2倍に増えており、新たな生産施設の計画も同様に増えている。一方で年間8000万トンを超える既存のグレー水素（化石燃料を利用して生産される水素）需要は、燃料電池の利用が増える中で、グリーン水素にとっても安定した市場ともなっている。我々は、2030年代後半までに水素関連のプラチナ需要は、年間のプラチナ需要の3分の1にまでに増えると予測している。

1975年以降、水素の需要は石油精製と肥料製造のアンモニア生産に支えられて毎年3%以上増えているが、そのほとんどはグレー水素だ。Energy Transitions Commissionは、水素市場は2030年代を通じて年間9%以上の成長を続けるとしている。現在グレー水素は主に天然ガスの水蒸気改質法によって生産されているが、この方法は水素1キロにつき9キロから10キロの炭素を排出する。脱炭素化を目指す水素市場にとって、炭素排出ゼロのグリーン水素こそが理想的な解決策だ。既存の水素市場の脱炭素化に加え、グリーン水素は暖房で天然ガスの代わりとして、また燃料電池自動車を含む燃料電池発電および蓄電に使われる。

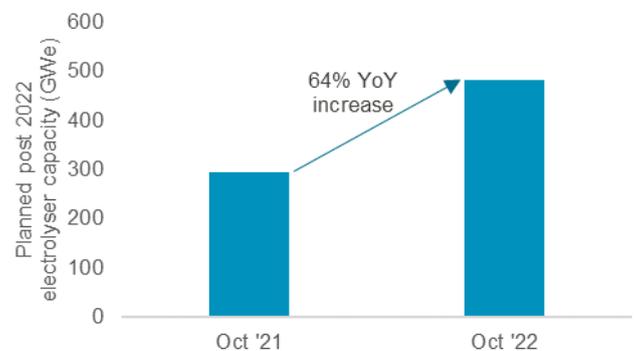
潜在的な需要の成長はグリーン水素の開発への投資の後押しとなる。それぞれの開発プロジェクトの目的は新たな用途かもしれないが、その結果はグレー水素の代替としての役割も果たす。安定した需要のあるグレー水素市場の存在は、広範にインフラが普及していないまでも、既に水素を扱う技術と方法が確立されていることを意味している。

既存のグレー水素市場は既に年間8000万トン以上で、2030年代を通じて毎年9%伸びる予測



資料: IEA, WPIIC リサーチ

新たなグリーン水素プロジェクトの生産能力は2021年10月から2022年10月の間に64%増加



資料: IEA, WPIIC リサーチ

グリーン水素は、再生可能エネルギーを使い固体高分子型水電解あるいはアルカリ電解によって得られる。固体高分子型水電解装置はプラチナを触媒として使うが、アルカリ電解装置は少量の研究開発以外にはプラチナを使わない。固体高分子型水電解装置の方が再生可能エネルギー特有の変動に対応しやすく、故にグリーン水素生産に適しており、一方でアルカリ電解装置は水力発電など安定した電力源での利用に適している。水素産業の発展に伴い、グリーン水素生産能力は2021年10月から2022年10月の間に58%増え、新規グリーン水素生産プロジェクトは64%増えた。新規グリーン水素プロジェクトの全てが固体高分子型水電解装置を使うと仮定すると、2030年までの累積プラチナ需要は84トンを超え、さらに燃料電池のプラチナ需要を含めると、水素関連のプラチナ需要は2030年代後半までに年間需要の3分の1を占めるまでになるだろう。

既存の水素市場は年間8000万トン、2030年を通じて毎年9%の成長予測はグリーン水素開発を大きく後押し

水素関連のプラチナ需要は2030年代後半には年間プラチナ需要の3分の1になるだろう

Edward Sterck
Director of Research
+44 203 696 8774
esterck@platinuminvestment.com

Wade Napier
Analyst
+44 203 696 8774
wnapier@platinuminvestment.com

Brendan Clifford
Head of Institutional Distribution
+44 203 696 8778
bclifford@platinuminvestment.com

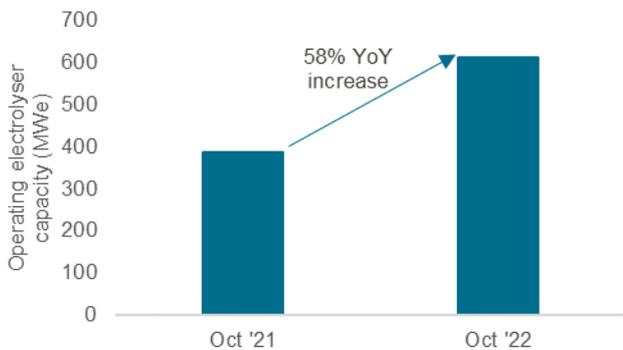
World Platinum Investment Council
www.platinuminvestment.com
166 Piccadilly,
London, W1J 9EF

2023年3月28日

投資資産としてのプラチナの魅力:

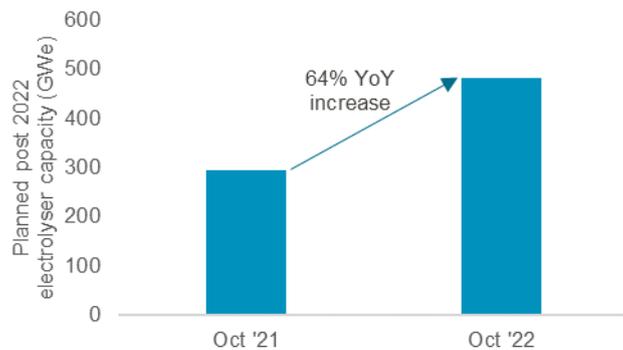
- 南アフリカの電力不足と対ロシア制裁で供給が大幅に制限
- プラチナ価格は依然として過小評価されており、金とパラジウムと比較しても大幅に低い
- 自動車の PGM 需要は、ガソリンエンジンにおける代替の動きにより今後も成長
- パラジウムとプラチナのマーケットバランスと価格のミスマッチが代替の動きを加速
- 投資需要は 2 年間のネガティブ需要を経てポジティブに転じる見通し

図 1: 2021 年 10 月から 2022 年 10 月の間にグリーン水素生産能力は 58% 増加



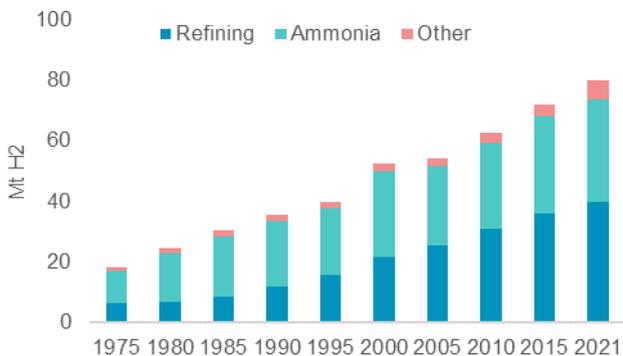
資料: IEA, WPIIC リサーチ

図 2: 同時期、新規グリーン水素プロジェクトは 64% 増加



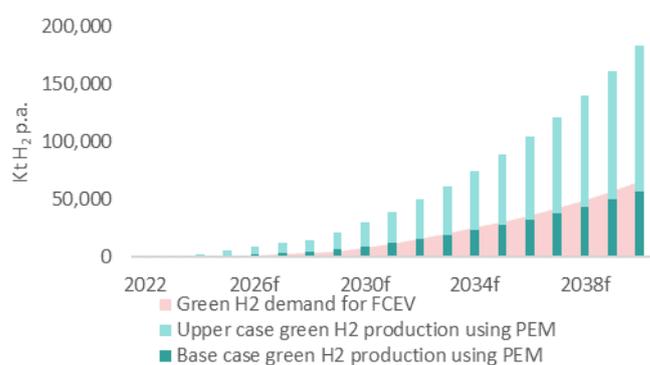
資料: IEA, WPIIC リサーチ

図 3: グレー水素市場は年間 8000 万トン以上。1975 年以降、毎年 3% 以上増え、2030 年代は 9% 以上の成長見込み



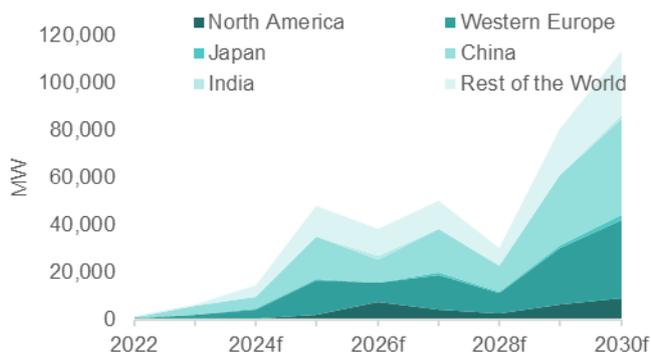
資料: IEA, WPIIC リサーチ

図 4: グリーン水素生産率は水電解装置の開発に依存し、我々のベースケース予測は全体の 33% がプラチナを使う固体高分子型水電解装置で、残りがアルカリ電解装置



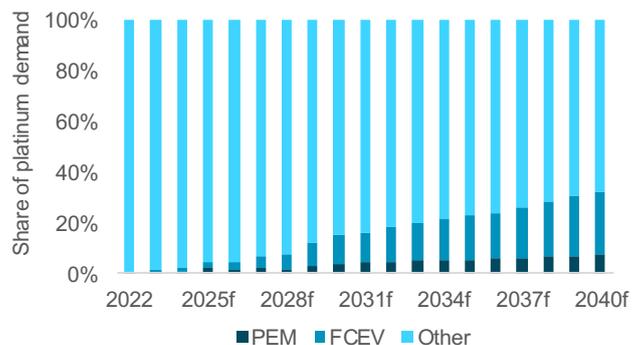
資料: WPIIC リサーチ

図 5: 新規グリーン水素プロジェクトの稼働時期は変動的だがこの 10 年間で早まるとされる



資料: IEA, WPIIC リサーチ

図 6: 水素関連のプラチナ需要は 2030 年代後半までにプラチナ需要全体の 3 分の 1 になる予測



資料: メタルズフォーカス (2022 年~2023 年) WPIIC リサーチ

免責条項:

当出版物は一般的なもので、唯一の目的は知識を提供することである。当出版物の発行者、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンスルは、世界の主要なプラチナ生産会社によってプラチナ投資需要発展のために設立されたものである。その使命は、それによって行動を起こすことができるような見識と投資家向けの商品開発を通じて現物プラチナに対する投資需要を喚起すること、プラチナ投資家の判断材料となりうる信頼性の高い情報を提供すること、そして金融機関と市場参加者らと協力して投資家が必要とする商品や情報ルートを提供することである。

当出版物は有価証券の売買を提案または勧誘するものではなく、またそのような提案または勧誘とみなされるべきものでもない。当出版物によって、出版者はそれが明示されているか示唆されているかにかかわらず、有価証券あるいは商品取引の注文を発注、手配、助言、仲介、奨励する意図はない。当出版物は税務、法務、投資に関する助言を提案する意図はなく、当出版物のいかなる部分も投資商品及び有価証券の購入及び売却、投資戦略あるいは取引を推薦するものとみなされるべきでない。発行者はブローカー・ディーラーでも、また2000年金融サービス市場法、Senior Managers and Certifications Regime 及び金融行動監視機構を含むアメリカ合衆国及びイギリス連邦の法律に登録された投資アドバイザーでもなく、及びそのようなものと称していることもない。

当出版物は特定の投資家を対象とした、あるいは特定の投資家のための専有的な投資アドバイスではなく、またそのようなものとみなされるべきではない。どのような投資も専門の投資アドバイザーに助言を求めた上でなされるべきである。いかなる投資、投資戦略、あるいは関連した取引もそれが適切であるかどうかの判断は個人の投資目的、経済的環境、及びリスク許容度に基づいて個々人の責任でなされるべきである。具体的なビジネス、法務、税務上の状況に関してはビジネス、法務、税務及び会計アドバイザーに助言を求めるべきである。

当出版物は信頼できる情報に基づいているが、出版者が情報の正確性及び完全性を保証するものではない。当出版物は業界の継続的な成長予測に関する供述を含む、将来の予測に言及している。出版者は当出版物に含まれる、過去の情報以外の全ての予測は、実際の結果に影響を与えるリスクと不確定要素を伴うことを認識しているが、出版者は、当出版物の情報に起因して生じるいかなる損失あるいは損害に関して、一切の責任を負わないものとする。ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンスルのロゴ、商標、及びトレードマークは全てワールド・プラチナ・インベストメント・カウンスルに帰属する。当出版物に掲載されているその他の商標はそれぞれの商標登録者に帰属する。発行者は明記されていない限り商標登録者とは一切提携、連結、関連しておらず、また明記されていない限り商標登録者から支援や承認を受けていることはなく、また商標登録者によって設立されたものではない発行者によって非当事者商標に対するいかなる権利の請求も行われぬ。

WPIC のリサーチと第2次金融商品市場指令 (MiFID II)

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンスル(以下 WPIC) は第2次金融商品市場指令に対応するために出版物と提供するサービスに関して内部及び外部による再調査を行った。その結果として、我々のリサーチサービスの利用者とそのコンプライアンス部及び法務部に対して以下の報告を行う

WPIC のリサーチは明確に Minor Non-Monetary Benefit Category に分類され、全ての資産運用マネジャーに、引き続き無料で提供することができる。また WPIC リサーチは全ての投資組織で共有することができる。

1. WPIC はいかなる金融商品取引も行わない。WPIC はマーケットメイク取引、セールストレード、トレーディング、有価証券に関わるディーリングを一切行わない。(勧誘することもない。)
2. WPIC 出版物の内容は様々な手段を通じてあらゆる個人・団体に広く配布される。したがって第2次金融商品市場指令(欧州証券市場監督機構・金融行動監視機構・金融市場庁)において、Minor Non-Monetary Benefit Category に分類される。WPIC のリサーチは WPIC のウェブサイトより無料で取得することができる。WPIC のリサーチを掲載する環境へのアクセスにはいかなる承認取得も必要ない。
3. WPIC は、我々のリサーチサービスの利用者からいかなる金銭的報酬も受けることはなく、要求することもない。WPIC は機関投資家に対して、我々の無償のコンテンツを使うことに対していかなる金銭的報酬をも要求しないことを明確にしている。

さらに詳細な情報は WPIC のウェブサイトを参照。

website: <http://www.platinuminvestment.com/investment-research/mifid-ii>

当和訳は英語原文を翻訳したもので、和訳はあくまでも便宜的なものとして提供されている。英語原文と和訳に矛盾がある場合、英語原文が優先する。